

青春～アオハル～

天童高等学校
1年次通信第28号
令和5年2月16日

「後期期末考査に臨むにあたって その2」

2月も中旬に入りました。19日（日）には、二十四節気の1つ「雨水」を迎えます。「降る雪が雨に変わり、雪解けが始まる時期」という意味を持ちます。2月下旬からは厳しい寒さも和らぎ、本格的な雪解けが始まります。季節が確実に春に向かっていくのを感じますね。

さて、明日からいよいよ後期期末考査が始まります。13日（月）、14日（火）の学習会では、出席者全員が目的意識を持ち、個人で計画した課題に取り組んでいました。また、朝のホームルーム前や放課後のバスを待つまでの時間、教室で寸暇を惜しんで学習に取り組む生徒の姿を見かけます。生徒1人1人が高い目標のもと、考査に臨もうとしている証と言えます。

後期期末考査を目前に控えた今、心に留めて欲しいことを3つ述べます。

1 試験前日には、次の日に実施される科目の学習に対し、丁寧に取り組むこと。

自分で設定した目標を達成するためには、「最後の詰め」の作業を徹底して行うことが肝心です。出題範囲の教科書、ノート、プリント等をもう一度丁寧に確認することを怠らないことです。

また、試験当日の朝の時間も有効に活用し、粘り強く勉強してください。

2 試験本番では、自身の解答を必ず確認するようにすること。

受験中、解答を終えた際は、一呼吸入れてから、数学であれば答えに導く過程で計算ミスがないか、英語であればスペルミスをしていないかなどを必ず確認することです。

これまでの勉強をとおし、獲得した知識・技能をミスによって失点するほど悔しいことはありません。終了のチャイムが鳴るまで気を抜くことなく見直す姿勢を大切にしてください。

3 その日の試験が終了したら、次の日の試験に集中すること。

その日の試験が終了したら、自分自身に「お疲れ様！」といったメッセージを心の中で送り、次の日の試験に向けて心を切り替え、新たな気持ちで学習に取り組むようにしてください。

もちろん、試験の結果を反省する機会を設けることは大切です。それについては試験の全日程が終了してから結構ですから、目前に控えた事に1つ1つ集中してあたるようにしていきましょう。

年 次 主 任